

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

新年度予算

子育て・介護・暮らし応援

区民のみなさんの願いが実現しました！

区議会第1回定例会において、保坂区政2期目の初の予算である2016年度世田谷区一般会計予算の修正部分を除く原案などが成立しました。

新年度予算は、これまで日本共産党世田谷区議団が求めてきた保育園や特養ホーム等の積極的な増設や子どもの貧困対策等が盛り込まれました。区民のくらしや福祉を応援する積極的な予算と評価し、区議団は一般会計予算に賛成しました。



新年度予算の主な概要をご紹介します

子育て

**急げ！待機児解消、認可保育園の大幅増設
世田谷版「ネウボラ」が始まります**
(* 妊娠期からの切れ目のない子育て支援)

- ★ 今年4月入園の認可保育園の応募者は、過去最高の6,439人。待機児解消は区政の最重要課題です。区は今年度38施設2,211人分の保育所整備計画の予算を計上。整備に当たっては、世田谷区が独自に制定した保育の質を守るためのガイドラインにより、保育の質を確保しながら取り組みます。区は昨年度23区最大の保育園建設を行いました。
- ★ 保育園建設にあたり、近隣との合意形成が大きな課題です。江口区議は近隣との合意がすすむよう、区に更なる積極的対応を行うことを求め、区は前向きな答弁を行いました。
- ★ 新年度から5支所で保健師などの専門職が妊娠期からの相談・支援を行う世田谷版「ネウボラ」が始まります。

介護

**介護が必要になっても安心して暮らしていきたい…
地域密着型特養ホーム4か所増設など介護施設を増設します**

- ★ 介護が必要になっても、安心して地域で暮らしていくためには、それを支える介護施設の増設や様々な仕組みづくりが必要です。新年度予算では、地域密着型特養ホーム4か所など介護施設の積極的な増設予算が計上されました。(詳細は4面参照)
- ★ 一方で問題になっているのは「介護の質」です。区議団は、区独自に介護職の人材確保・処遇改善に取り組むことを重ねて要望しています。
- ★ 27か所の出張所・まちづくりセンターに、あんしんすこやかセンターと社会福祉協議会(社協)が入り、地域の介護や子育てなどを支えるための相談窓口である「地域包括ケアの地区展開」が行われます。

子どもの貧困

**児童養護施設退所者に対する「給付型奨学金」が始まります
就学援助が改善されます**

- ★ 児童養護施設退所者への返済不要の「給付型奨学金」制度が始まりました。区議団は、積極的な施策と評価するとともに、生活保護世帯やひとり親世帯などにも拡大することを提案しました。
- ★ 今年度から就学援助は、中学校入学準備金が入学前に支給されるようになりました。
- ★ 「世田谷ゼミナール(無料塾)」が5つの総合支所の地域で始まります。

実現しました

障がい者児

- ▶ 医療的ケアが必要な障がい児の保育が始まります(宮坂3丁目の子ども子育て総合センター2階にて)
- ▶ 全小学校に特別支援教室設置

健康

- ▶ 全てのがん検診の住民税非課税の方が無料になります
- ▶ 特定健診、長寿検診の住民税非課税の方が無料になります

雇用・産業

- ▶ 公契約条例の労働報酬下限額の決定と予算化
- ▶ 建設業の人材確保支援

大型道路見直し

- ▶ 下北沢の都市計画道路補助54号線の2期、3期事業が優先整備路線から外されました



江口じゅん子

急げ！二子玉川再開発地域のビル風被害の解決

昨年、二子玉川再開発は竣工しました。しかし、再開発の超高層ビルによる危険なビル風被害が続いています。私は区長に、事業者である再開発組合へ追加の風対策を早急に行うことを求めるよう、質問しました。区長は「重大事故が発生しないよう、引き続き組合に対して指導する」と答弁しました。

介護の質と量の確保のために…区として介護職員の実態調査を行え

川崎の有料ホームでの死亡事故は大変衝撃的でした。私は事前に区内の有料ホーム・特養ホームを視察。質問では現場の声を交えて、介護職員の人材確保・処遇改善の必要性を求め、まず区として介護職員の実態調査を行うことを提案。区長は「区として労働条件向上の支援に取り組んでいく」と答弁しました。



桜井みのる

NPO、ボランティアの予防介護活動の場所の確保を

区は今年度、高齢者、子どもなどが安心して暮らしていける地域包括ケア事業出張所、まちづくりセンターごとの27カ所で行います。また、要支援1、2の高齢者の「新しい総合事業」をすすめています。そのため、NPOやボランティアの予防介護活動を増やしますが、その活動場所が足りません。私は、現在ある学校などの公共施設を効率的に活用することはもちろん、必要な施設は整備すべきことを求めました。

三軒茶屋駅エレベーター設置の予算がつかしました

三軒茶屋駅南口にエレベーターの設置を求める長年の住民運動と議会での論戦が実り、今年度の予算に三軒茶屋駅エレベーター設置助成が計上されました。



たかじょう訓子

都市計画道路補助219号線は計画を廃止せよ

都市計画道路、第四次事業化計画で優先整備路線となった補助219号線は、小鳥の森保育園や烏山プレーパークを含む公園、大学の敷地を横断する計画です。区民からは、園庭がなくなる、公園が半分になるなど、道路計画反対の声が上がっています。私は、補助219号線は優先整備路線から外し、計画を廃止するよう求めました。

学校図書館について

今まで、学校図書館には年間100日、学校のある日の半分しか図書館が開いていない状況でした。日本共産党が長年求めてきた学校司書の全校での年間配置を区は、昨年からはスタートさせ、今年度中に32校の子どもがいつでも図書館を利用できるようになります。私は、残り60校の配置していない学校での学校司書配置を求め、同時に職員を支えるバックアップ体制を作るよう求めました。日本共産党は学校司書業務は委託ではなく直接雇用で行うべきと求めています。



中里光夫

未整備の都市計画道路、問題を検証し廃止含めた見直しを

区内の未整備の都市計画道路の多くは70年前の戦災復興計画によるもので、53.6kmあります。街を分断し、住民を追い出す計画も多く、すべてを整備する必要はありません。全国では「地域コミュニティを壊す」「商店街の存続を困難にする」「公園や緑地の分断」などを理由に未整備路線の計画を廃止しています。区も未整備路線の問題点を調査、検証し、廃止を含めた見直しを進めるよう求めました。

公共図書館の役割を守れ

区は区立経堂図書館に指定管理者を導入する計画です。図書館の運営を民間企業に行わせるものです。公共図書館は住民の知る権利を保障する機関です。私たちは公立図書館の公共性を守るために指定管理者導入に反対し、導入するなら公共図書館としての役割を守るためのガイドラインを制定すべきだと求めています。教育長は「公共性を担保して魅力ある図書館を作りたい」と答弁しました。



村田義則

国有地、都有地を活用し、高齢者施設整備…用賀地区

区はこのほど、上用賀4丁目の国有地を活用した特養ホーム整備計画を発表しました。特養ホームの定員は58人、ショートステイ7人で、平成31年4月開設の予定です。

この計画は、二転三転してきました。最初の計画後、国が土地を民間に売却すると方針転換したからです。「国の姿勢は問題」と、区議会できりあげ、区も粘り強く交渉してきました。そして大きな世論の後押しがあって実現しました。用賀地区は他にも、都有地を使った都市型軽費老人ホームも整備中です。

(検診で大腸がんが見つかり、入院治療のため3月議会は休みました。すでに退院し、4月から議会に復帰します。ご心配をおかけしました。)

遅れていた東京都の子どもの貧困対策が前進

全国で東京都だけが子どもの貧困の調査を行っていませんでした。日本共産党の追及で、都の16年度予算に初めて子どもの貧困の実態調査のため5千万円の予算がつかしました。

また、「受験生チャレンジ支援貸付」＝高校と大学の受験のための塾代と受験料を貸与する制度は、合格すれば、返済無用となりますが、連帯保証人の確保ができずあきらめるひともいました。改善を求めた共産党の質問で都は「困難な場合は連帯保証人を不要にする」と答弁がありました。さらに給付制奨学金の創設など求めています。



都議会議員
里吉ゆみ

選挙後最初の予算 みなさんとともに公約実現 代表質問をした中里光夫区議に聞く



区民の運動と日本共産党の論戦で

Q 第1回定例会は、新年度予算が審議されました。どのような予算になりましたか

A 昨年の区長選挙、区議会議員選挙後最初の予算です。選挙の中で区民のみなさんに訴え、みなさんとともに取り組んできた公約が実った予算です。

日本共産党は、暮らし優先の区政を前進させよう、大型開発優先の自民党区政への後戻りは許さないと訴えてきました。アベノミクスの失敗で貧困と格差が広がっています。保坂区長も厳しさを増す経済情勢ということ認め、暮らしを応援し、格差是正、雇用の安定、区内産業振興などに取り組むと表明しました。保育園増設などの子育て支援の充実、高齢者介護施設の増設、子どもの貧困対策などが前進しました。

Q 具体的にどのようなことが、暮らし応援になっているのですか

A 保育待機児問題は、仕事に復帰できないなど大きな問題です。区民の数万規模の署名が繰り返し区議会によせられてきました。世田谷区はこの間も、保育の質ガイドラインを守りながら都内最大規模の保育園増設をしてきました。新年度も2,211人分の予算をつけました。

子どもの貧困対策は就学援助の基準を守ること、入学準備金を入学前に支給することなど、私たちの提案が予算に反映されました。

Q 雇用や産業の分野では、どんな前進がありましたか

A 公契約条例が施行されて1年、適正化委員会の議論も進んで労働報酬下限額が決まり、予算にも反映されました。公共工事や区の委託事業での賃金の水準を引き上げ、公共工事や公共サービスの質の向上につながることを期待しています。

建設業を産業として位置づけ、区が支援するよう求めてきま

したが、区は、建設業の実態把握のための調査を行い、産業部門としての建設業への支援を検討していくと表明しました。

自民党型区政への後戻り許さず

Q 大型開発はどうですか

A 下北沢の都市計画道路補助54号線の2期・3期事業が優先整備路線から外されました。地元住民の声に応えたものです。街づくりや道路のあり方など、立ち止まって、住民参加でよく検討すべきだと思います。ところが自民党、公明党はとにかく道路の早期整備をと激しく求めました。

Q 自民党や公明党が予算の修正や決議を提案したそうですが

A そうなんです。道路整備や区役所本庁舎整備の区の姿勢が、自民、公明、F行革の主張と食い違っていることが明瞭となりました。

本庁舎整備は、一部改築か、全面改築かなどまだ何も決まっています。ところが自民、公明は全面建て替えを主張し、庁舎一部保存の場合の調査費を予算から削る修正案を提案し、賛成多数で可決してしまいました。2016年度予算はこの部分を修正の上、成立しました。

決議というのは、自民、公明、F行革が庁舎問題や道路問題で区長の答弁が意にそわないと「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めることを求める決議」を提案しました。予算も成立し、区政は停滞していません。多数決で可決されましたが、他のすべての会派は反対しました。

Q 熊本区政時代とは随分変わった印象ですね

A 自民党などは、開発優先・区民サービス切りすでの以前のやり方に戻そうと「道路整備を推進せよ」「痛みを伴う行革を行え」と迫っています。自民党型の区政に後戻りさせないよう引き続きがんばります。

戦争法廃止へ野党は共闘！羽根木公園で区民集会とピースパレード



3月19日、羽根木公園はらっぱ広場で「戦争させない！9条壊すな！世田谷区民集会」が開かれました。保坂区長があいさつしたのをはじめ、共産、民主、社民、生活者ネット、維新の各党に所属する議員があいさつしました。集会後ピースパレードが行われました。

介護 前進

地域密着型特養ホーム4カ所、 大型特養ホーム4カ所整備へ

区は、団塊の世代が75歳以上になる2025年度(平成37年度)にむけ、特養ホームを1,000人分整備する計画をすすめています。また、出張所、まちづくりセンターごとの27カ所の地区を日常生活圏域として地域密着型介護サービス事業をすすめています。

日本共産党は、この間、区に対し、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる世田谷をつくるために介護施設の拡充を求めてきました。身近な地域に地域密着型特養ホームなどの介護を支える施設ができれば、高齢者は安心して暮らせ、家族の介護負担は軽減されます。

日本共産党の質問に保坂区長は、「重度の要介護高齢者の生活の場としての特養ホームを計画的に整備する必要があります…区民のみなさまが安心して住み続けられる世田谷区の実現に取り組んでまいります」と述べました。



区議団と山添拓さん、里吉ゆみ都議で、区立特養ホーム・芦花ホームを見学しました。

実現しました！ 今後の高齢者施設の整備

- 地域密着型特養ホーム(定員29名以下の小規模な特養)は4ヶ所…成城、上北沢、下馬、「公募中」
- 小規模多機能型居宅介護(デイ、宿泊、訪問介護)は6ヶ所…三宿、八幡山、深沢、下馬、「公募中」
- 都市型軽費老人ホーム(低廉な家賃の老人ホーム)は5カ所…鎌田、船橋、船橋、深沢、桜
- 認知症高齢者グループホームは8ヶ所…若林、等々力、八幡山、祖師谷、下馬、「公募中」
- 大型特養ホームは4ヶ所…深沢、船橋、下馬、上用賀

区役所本庁舎建て替え



現在の世田谷区役所第1庁舎を中庭から望む

区は「本庁舎等整備(検討素材)」を発表しました。

検討素材では、「現在地での整備」「床面積は最低45,000㎡」「概算事業費は408億円」「財源は基金の積立と起債を検討する」「2020年度に着工できるように」「世田谷総合支所の移転を検討」などが示されています。

4月から本庁舎整備基本構想検討委員会がスタートします。検討素材は区のホームページから見るすることができます。

区民の理解が前提 区民へののていねいな説明を

世田谷区役所本庁舎は築50年近く経過し老朽化が進んでいます。建て替えなど何らかの整備が必要です。区は一部または全部を改築するという方針で検討を進めていますが、具体的なことはまだ決まっていません。

庁舎整備は莫大な税金をつぎ込む事業です。建て替えの是非、整備の方法、財政計画など区民の理解が大前提ですが、区民の理解はまだ得られていません。日本共産党は、まず区の検討状況を区民に知らせ、意見を聞き、理解と合意をすすめるべきだと主張しています。

本庁舎整備(検討素材)の構成

- 第1章 本庁舎整備の背景
- 第2章 本庁舎整備の理念
- 第3章 本庁舎整備の基本的方針(案)
- 第4章 個別機能(整備課題)ごとの整備方針(案)
- 第5章 世田谷区民会館
- 第6章 本庁舎整備の規模
- 第7章 事業計画

詳しくは、「世田谷区本庁舎等整備検討素材」で検索してください。